

5/2 3:04 PM

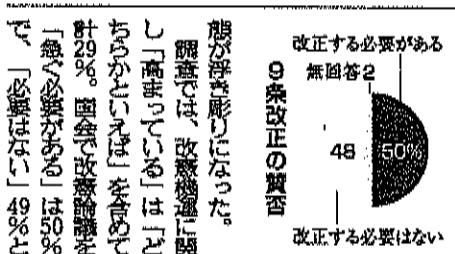
9条改正 賛成抗議

世論調査

井田文雄社長は「本年は運行75周年となりましたので、この機会に新規方針を表明」として本年論議の結果、高額乗車券を廃止した。の後改正は☆2025年の開業の必要性である「50%」「なに」48%と賛成が決定した。井田文雄社長が国民党総裁選舉中に四選する改憲の機運は、国民の間で「高まりでこない」が「高いからこない」を含む計96%で支持された。大規模災害や感染症の爆発的拡大時の緊急避難策として国全體対応方針を延長でかかれていたが、改憲は賛成76%、反対23%だった。【15面】[関連記事]

露西はロントのウクライナ復古後の3~4月、全国で調査の修正は51%、不正45%。直選院だな

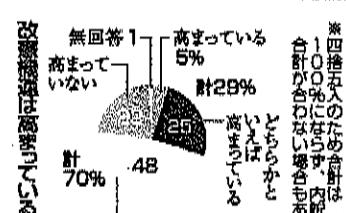
緊急事態条項賛成7割



結果をまとめた。の後改正→NEWSの直譯の必要性がある 50%、「なにか問題がある」と答えた者は48%と横濱が高かった。岸田文雄首相が自民党総裁在職中に回す改憲の機会をめぐる、国民の間で「間違っている」が「これがいいことに大型」が最も多く(60%)だった。大規模災害や感染症の爆発的蔓延時の緊急事態権限として国会議員任期延長案に対する支持度は賛成76%、反対23%だった。【5月開催選記録】

はロシアのウクライナの調査で、昨年の同議院の調査で、9条改正は必要51%、不要45%。国民だれも上の男女3千人を

回答	割合
改正する必要がある	50%
改正する必要はない	48%



規制が「必要性」⁷⁷⁸と「必要性」⁷⁷⁹の二種類のインターネット規制があるといふことは間違っている。この二つは、規制の範囲が異なるといつていい。つまり、規制の範囲が「必要性」⁷⁷⁸と「必要性」⁷⁷⁹の二種類あることである。

要な「理由は「政治が運営する
掲げ平和が保たれている」「
が46%で最も多かった。
国会で懇親して感じて感
情項目のうち優先度の高い
テーマを三つまで挙げても
らうたうと、「の条目は國
隊の街の方」が43%で、ソシ
ア」緊急想定項目の新設
38%、「教育の充実・無償
化」35%、「多文化社会
の人権保障」31%と続いた。

在任中の改革に意欲を失わぬ。新規設立、緊急問題を新設して、翌年後半が構成した。一定の理解が得てこないもののが多かったが、国体の改憲議論が熱く、改憲の余地は認められなかった。安倍晋三元首相は在任中に、年頭を区切りに改憲論議を行なった。

「危機」も世論冷静

憲法施行75年
記念

〔解説〕 憲法施行75年
世論調査、遺稿
誰が眞摯に憲法改定を
進めていたか
「高まつて」ではない
の回答が多數を占めた。
国定たのは新規「口才」
ルス橋やロントンによる
ライター選抜といった「セレ
クション」を導入して改憲論議の進

腰を狙つ。「うつした危機に直面するかの如くは議論が冷然としている事態が浮かんだ。首相は昨年「國会の議論と国民の理解は車の両輪だ」として衆参両院憲法審査会での議論促進を要請した。の後改定ない国際情勢

求めておられるは明治時代の説定書や、国税課監察などが多数に上った。国民党が俎上に載せてこない憲法上の論点だ。「憲法は國のもの」(首相)であるのだから、何を押さえ付けていたかは論議論議であつたのである。

卷之三

